

平成18年度大垣市当初予算の概要

予算総額 1,456億9,500万円

- ・一般会計 524億2,000万円
- ・特別会計 595億5,900万円
- ・企業会計 337億1,600万円

＝財政健全に向けた緊縮予算＝

平成18年度の予算規模は、総額1,456億9,500万円となっています。一般会計予算は、524億2,000万円、前年度の大垣市の当初予算と比較すると、70億6,000万円(15.6%)の増となっています。新年度予算は合併後、初めての年間総合予算となっており、前年度1市2町分と比較し、武道館建設事業債の償還を除くと実質的には、2億3,770万円(0.5%)減の緊縮予算となっています。

歳入の根幹をなす市税は、249億1,000万円の前年度比6.0%増となっていますが、前年度1市2町分と比較した実質では、1.1%の伸びにとどまっています。また、基金に頼らない財政運営を目指して、財政調整基金の取り崩しを抑制した結果、繰入金は5億2,735万円で32.6%の減となっています。

歳出は多い順に、民生費が150億2,432万円で9.7%増、土木費が79億4,775万円で20.3%増、武道館建設事業債償還分を除く公債費が64億4,764万円、1.6%増などとなっています。

特別会計は、合併に伴い7会計を新設、計17会計となり、全体で595億5,900万円となっています。前年度比較で、77億2,300万円(14.9%)の増となっています。

企業会計は、病院・水道事業を合わせ、337億1,600万円、前年度比較で、39億5,200万円(13.3%)の増となっています。

特別会計の内訳

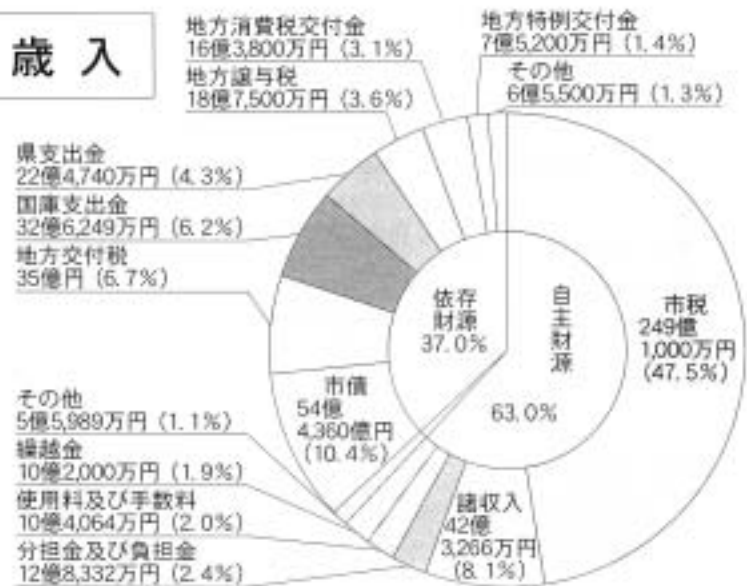
会計別	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	増減率
物品調達	890万円	870万円	2.3%
交通災害共済	4,510万円	5,670万円	△20.5%
国民健康保険	136億8,800万円	120億6,000万円	13.5%
国民健康保険運営経費	5,980万円	—	新増
老人保健医療	132億3,100万円	116億1,800万円	13.9%
介護保険	89億8,700万円	78億5,400万円	14.3%
簡易水道	1億2,480万円	200万円	6,130.0%
市行森林	6,650万円	—	新増
公設地方卸売市場	1億2,920万円	1億3,710万円	△5.8%
公共下水道	71億8,040万円	62億7,000万円	14.5%
特定環境保全公共下水道	2億4,600万円	—	新増
農業集落排水	8,210万円	—	新増
駐車場	2億3,480万円	2億3,850万円	△1.6%
競艇	154億7,100万円	135億8,300万円	13.9%
牧田財産区	400万円	—	新増
一之瀬財産区	30万円	—	新増
時勢区	30万円	—	新増
合計	595億5,900万円	518億3,600万円	14.9%

企業会計の内訳

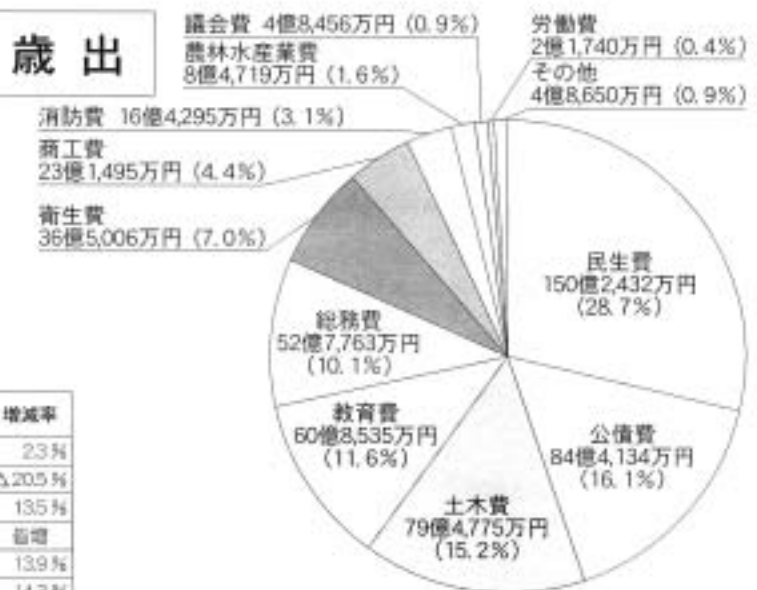
会計別	平成18年度 当初予算額	平成17年度 当初予算額	増減率
病院	304億8,400万円	265億7,700万円	14.6%
水道	32億5,200万円	31億8,700万円	2.0%
合計	337億1,600万円	297億6,400万円	13.3%

一般会計の内訳

歳入



歳出

市民一人あたりの
予算(一般会計)

31万5,083円

平成18年3月1日現在の
人口166,389人で算出福祉などに
9万3,307円道路や河川などに
4万7,772円教育、文化に
3万6,577円窓口サービスなどに
3万1,722円健康、清掃に
2万1,940円西工業に
1万3,915円消防、救急に
9,875円農林水産業に
5,092円